

ダッソー・システムズ汚職防止ポリシー

バージョン2.1

ダッソー・システムズの目的：

「3DEXPERIENCE 環境を企業と人に提供し、製品、自然、生活を調和できる持続可能なイノベーションを創出することです」

この目的を達成するために、当社が尊重しているコア・バリュー：

「夢を現実化できることを示し、現状に挑戦し、情熱を持って学び、私たちのコミュニティを結びつけること」

これを実現するのが、お客様、エコシステム、および当社間における倫理的な取り組みです。

企業倫理は創業以来、ダッソー・システムズ¹の精神、文化、行動に不可欠のものです。ダッソー・システムズでは、信頼と誠実さが、私たちのコミュニティを結びつけるために、お客様とともに成長し、成功するための中核的価値であり、信頼における長期的な関係は、正直であること、フェアプレイ、他者の尊重そして、妥協せずに「正しいことを行う」ことを通じて構築されると確信しています。

正直かつ誠実に事業を行う倫理的企業としてダッソー・システムズが築いてきた評判を守り、一層強化することは、従業員、取締役、役員、パートナーなど、ダッソー・システムズのコミュニティに属する全員の責任です。

ダッソー・システムズが幅広い事業環境において業務を行っていることを踏まえると、特定の状況では、正直かつ誠実に事業を行うというダッソー・システムズの確固たるコミットメントを脅かすような事態が発生する可能性があります。ダッソー・システムズの業務行動規範では、そのような状況をいくつか特定し、適切な業務上の意思決定および相手とのやりとりを確保するための対処法を規定しています。

本汚職防止ポリシーの目的は、業務上の関係における振る舞いについて情報およびガイダンスを提供することにより、汚職（口利き行為などを含む）防止に関するダッソー・システムズの業務行動規範の規定を補完することにあります。

¹ダッソー・システムズとは、Dassault Systèmes S.E. および、直接的または間接的に Dassault Systèmes S.E. を支配する、Dassault Systèmes S.E. によって支配される、または Dassault Systèmes S.E. と共通の支配下にあるすべての個人および法人を意味します。ここで、支配とは、経営権、エクイティ持ち分またはその他の手段によるものをいいます。

ダッソー・システムズのすべての従業員、取締役、役員またはパートナーには、本ポリシーを読み、明確に理解し、これを遵守することが期待されます。

ご不明の点がある場合やガイダンスが必要な場合は、ダッソー・システムズ・コンプライアンス・オフィサー (people.ethicscommittee@3ds.com)、財務または法務部までお問い合わせください。お問い合わせは常時受け付けています。

ダッソー・システムズのすべての従業員およびパートナーは、[内部告発手続](#)を利用できます。本汚職防止ポリシーへの違反を見聞きした場合は、コンプライアンス・オフィサーまで、上記のアドレス宛てに無私で善意の告発を行うことができます。この内部告発手続は義務でも排他的な手続でもありません。詳細については、[3DSone/oneConduct](#)に掲載の条件をお読みになるか、法務部にご請求ください。

目次

1. 汚職防止ポリシーの原則および用語集.....	4
1.1 汚職防止ポリシー - 原則.....	4

1.2 汚職防止ポリシー - 用語集.....	5
2. 社会的儀礼 - 一般的な条件.....	8
2.1. 贈収賄の意図がないこと.....	8
2.2. 法令およびポリシーの尊重.....	9
2.3. 妥当な額.....	10
2.4. 記録保持/会計要件.....	10
3. 営利企業と直接取引を行う場合の社会的儀礼.....	10
3.1. ビジネス顧客、パートナーまたはサプライヤーとの間で授受される贈答品.....	11
3.2. ビジネス顧客、パートナーまたはサプライヤーとの間で授受される接待.....	11
4. 公務員と直接取引を行う場合の社会的儀礼.....	12
4.1. 公務員との間で授受される贈答品.....	12
4.2. 公務員との間で授受される接待.....	13
5. 間接的な取引.....	14
6. 寄付、慈善的寄付および企業スポンサーシップ.....	16
7. 制裁.....	16

1. 汚職防止ポリシーの原則および用語集

1.1 汚職防止ポリシー - 原則

個人またはダッソー・システムズのために不適切な利益または優遇措置を獲得する意図を持って勧誘または支払いを行うことは、いかなる場合であれ容認されません。

これは、口利き行為¹を含め、あらゆる形態の汚職に適用されます。

そのような行為は本ポリシーに違反するだけでなく、ダッソー・システムズが事業を展開する多くの国では違法です。厳格な汚職防止法および規制（たとえば、フランスのLoi Sapin II、米国の外国腐敗行為防止法および英国の贈収賄防止法）に違反した場合は、重罪となり、特に公務員¹が関与していた場合は、個人および法人の違反に対して重い罰が科される可能性があります。

結論として：

- ダッソー・システムズでは、ダッソー・システムズの従業員、取締役、役員およびパートナーが直接的または間接的に第三者を介して以下のことを行うことを禁止しています。
 - 意思決定権を有する人物（個人または法人）またはそのような人物の意思決定に影響力を行使しうる人物（親族、友人、同僚など）に対して、贈収賄の意図¹を持って、有価物¹の支払い、授与、申し出、約束または提供を行うこと、あるいは第三者に有価物¹の支払い、授与、申し出、約束または提供を許可すること。
 - そのような取り決めが業務上の取引の結果に影響を及ぼしうる（つまり、贈収賄の意図¹がある）場合に、他人から有価物¹を受領または要求すること（あるいはそのような受領または要求を許可すること）。
- ダッソー・システムズでは、ダッソー・システムズの従業員、取締役、役員およびパートナーが直接的または第三者を通じて間接的に、「利益供与または円滑化のための支払い」を行うことを禁じています。つまり、公務員¹または公務員¹の決定に影響を及ぼしうる人物（親族、友人、同僚など）に対して、「政府機関の通常業務」の実行を促進または確保するために支払いを行うことは、そのような支払いが法的に許容されている国においてであっても禁止されます。

ダッソー・システムズが支払いを禁止する「政府機関の通常業務」の例には、以下のものが含まれます。

- 許認可、免許またはその他の公的文書の取得
- ビザおよび労働許可証などの政府文書の処理
- 警察、郵便物の収集および配達業務の提供

- 電話サービス、電力および水の供給、貨物の積み下ろし、または腐敗しやすい製品の保護業務の提供
- 契約の履行または物品の輸送に関連する検査業務の提供
- 社会的儀礼¹には個別の規則が適用されます。
社会的儀礼¹の授受は、ビジネスの勧誘とみなされない限り、誠意のある業務上の関係を構築し、親善を深めるために一定の役割を果たします。ダッソー・システムズでは、ビジネス環境で社会的儀礼¹を授受する際に、適切な判断と節度を持ってそれを行うことを奨励しています。授受される社会的儀礼¹は、状況に応じて適切でなければならず、本ポリシーの規定に従わなければなりません（以下のセクション2～4を参照）。
- 不適切な支払いを拒否した場合に、あなた自身の健康または安全あるいはあなたの家族の健康または安全が危険にさらされる場合は、可能な限り速やかにGeoマネージング・ディレクターおよび/または現地のHRディレクターおよび法務部門に秘密裏に通知し、適切な処置を要請してください。

1.2 汚職防止ポリシー - 用語集

有価物

「有価物」という用語は広義に解釈され、あらゆる種類および形態の利益が含まれます。

「有価物」の要素には、一般的に以下の性質があります。

- 関連付けられている最低額はありません。受領者の認識および、授受される物品の主観的評価が重要な要素となります。
- 関連付けられている最高額は、個別の状況によって異なります。たとえば、公務員¹に提供される社会的儀礼¹の最高額は（以下のセクション4を参照）、営利企業に提供される社会的儀礼¹（以下のセクション3を参照）よりも低くなります。

したがって、この概念は以下のものに適用されます。

- 現金（小切手、為替、貸付、株式など）
- 現金同等物（クーポン券、ギフト券など）
- 社会的儀礼¹
- 以下のものを含むあらゆる種類の支払い：

¹ セクション1.2の定義を参照

- キックバック（これは製品またはサービスの購入または販売に関連して個人に授与された支払いまたは有価物をいい、一般的には、販売契約において値引きを提供するためのものです。たとえば、ダッソー・システムズの顧客が異常なまたは未承認の値引きを受け、その見返りにダッソー・システムズのセールス担当者が支払いを受ける場合があります。）
 - セミナー講演料（セミナーで実際に講演していない場合）
 - 受領者に利益をもたらし、ダッソー・システムズの通常の業務には当たらないセミナーのスポンサーシップ
- 資材、設備または機器の異常な使用（通常の業務外）
 - 保険給付
 - 有利な貸付条件
 - 動産または不動産
 - 異常または例外的な、未承認または文書化されていない値引き、リベートまたは手数料
 - 雇用の提供
 - 奨学金またはインターンシップ
 - 互惠取引、つまり、売り手が見返りに何らかの購入を行う場合に、一方当事者が売り手から製品を購入することに同意する取り決め（たとえば、購買部門の担当者が、サプライヤーからの製品またはサービスの購入に関する意思決定は、サプライヤーがダッソー・システムズの製品またはサービスを購入するという互惠取引の取り決めに基づくと述べた場合）
 - 債務の返済
 - 入札に関連する話し合いの場合は、有利な入札

企業スポンサーシップ

企業スポンサーシップは、直接的な利益と引き換えに、企業に物質的または財政的支援を提供することで構成されます。

贈収賄の意図

贈収賄の意図に該当するのは以下のものです。

- 以下の目的のために意思決定者に自分の立場を濫用するように奨励すること：
 - ダッソー・システムズのために、またはダッソー・システムズとのビジネスを獲得/保持する

- 自身（ダッソー・システムズを含む）のため、あるいは政府機関の意思決定または行為について、不適切な利益を確保/保持する
- 自身の意思決定に影響を及ぼしうるあらゆる種類の利益を求める

言い換えると、贈収賄の意図を防止するとは、善意を持ち、誠実に、公平にまたは責任のある地位にふさわしく行動するという期待に背く行為を誘発するような行動を第三者に推奨しないことを意味します。

「ビジネスの獲得/保持」の要素は幅広く適用され、誘引者または誘引者の従業員が以下のものを含む不適切な利益を得るあらゆる状況が意図されます。

- 契約の獲得または更新
- 既存の契約の履行
- 租税または関税に関する特別な取り扱いの確保
- 事業に必要な免許または許認可の確保

このような不適切な利益が、行為が実行される前または後のいずれに供与されたかは重要ではありません。したがって、事後的な利益の供与は、約束と同様に罰せられます。

贈収賄の慣行は、贈収賄の目的が達成されなかった場合であっても容認されません。

以下のセクション2～4では、贈収賄の意図の有無を判断するためのガイドラインを示します。

寄付および慈善的寄付

寄付および慈善的寄付は、公益に資する活動または団体に、見返りとしての利益を求めることなく、物質的、財政的、または人的な支援を提供することとして定義することができます。

接待

本ポリシーの目的において、接待とは、旅行、宿泊、娯楽、飲み物、食事を意味します（以下の社会的儀礼の定義を参照）。

公務員

本ポリシーの目的において、公務員とは、政府職員および/または公職者をいい、以下を含みます。

- 国や国際的な公的機関によって支配されている機関または企業の役職員
- 上記には、職位や役職を問わず、すべての公務員、選挙で選ばれた行政・司法・立法の機関の構成員、王室および準政府系企業（国有または国が権利を有する国営の企業）の役職員を含みます。
- 政党员または公職の選挙候補者など

口利き行為

口利き行為には、利益の約束と引き替えに、特別待遇、雇用、契約または好意的な意思決定を獲得するために、影響力（実際のまたは想定される）が濫用される状況が関係します。能動的、受動的、直接的、間接的、国内的または国際的など、さまざまな形態を取ります。

社会的儀礼

本ポリシーの目的において、社会的儀礼には以下のものが含まれるとみなされます。

- 贈答品
- 接待、すなわち、旅行、宿泊、娯楽、飲み物および食事

2. 社会的儀礼 - 一般的な条件

営利企業または公務員のいずれとの取引においても、以下の一般的な条件に従って（以下のセクション3および4で説明する個別の条件に加えて）、社会的儀礼の授受が許可されます。

2.1. 贈収賄の意図がないこと

社会的儀礼は、贈収賄の意図がない限りにおいて、営利企業の印象の改善、製品およびサービスの印象の改善、または友好的な関係の確立を目的とするものでなければならず、敬意のしるし、礼儀またはもてなしに対する返礼として提供されなければなりません。

結果として、授受された社会的儀礼によって、不適切な影響が引き起こされたり（またはそのような印象を与えたり）、受領者に義務を負わせることがあってはな

りません。たとえば、ダッソー・システムズとビジネスを行うため、またはビジネスを継続するためには、贈答品または接待¹を提供することが義務であると感じられる可能性がある立場にサプライヤーを置くような行動を取ってはなりません。

贈収賄の意図のリスクを回避するために、進行中の商談において顧客、パートナーまたはサプライヤーとの間で社会的儀礼の授受を行ってはなりません。しかし、一部の国では、ビジネスが中断している間に控えめな贈答品あるいは、食事および娯楽を提供することが期待され、慣習的に行われています。そのような場合は、以下のことを条件として、現地の慣習に従うことが許容されます。

- 社会的儀礼に関して下に規定されるその他の一般的条件に従うこと
- 以下のセクション3および4で説明する個別の条件に従うこと
- 地域の財務部の事前承認を得ること

2.2. 法令およびポリシーの尊重

授受される社会的儀礼は、以下の条件を満たさなければなりません。

- 現地の慣習および習慣に適合していること。
- 適切であること、つまり、公表された場合にダッソー・システムズが困惑しないものであること（たとえば、賭博または「成人向け娯楽」などの娯楽の授受は禁止されています）。
- 社会的儀礼の状況に応じて、適用される法令に違反しないこと。
- この事項に関する贈与者および受領者のポリシーに違反しないこと（本ポリシーを含む）。特に、多くの政府系/公的企業では、従業員（公務員）に対して、食事および娯楽を含む一切の謝礼の受け取りを厳格に禁止しています。全員がこれらの禁止規定を認識し、厳守しなければなりません。

結論として：

- 社会的儀礼を授受する前に、関係当事者全員が本汚職防止ポリシーはもとより、問題になっている顧客、パートナー、サプライヤーまたは政府系/公共企業によって制定されたポリシーの規定を読んで理解し、それらを遵守することが求められます（各社のポリシーは、一般的にはそれぞれのWebサイトに掲載されている他、顧客、パートナー、サプライヤーまたは公務員から入手することができます）。
- さらに、社会的儀礼を授受する前に、[3DSone/oneConduct](#)で利用可能または以下のアドレスからリクエスト可能なテンプレートを使用して申請を行い、財務部の書面による事前の承認を得なければなりません：3ds.compliance-anticorruption@3ds.com

2.3. 妥当な額

授受される社会的儀礼は、妥当な額のものでなければなりません。つまり、授受される社会的儀礼の価額は、以下の条件を満たさなければなりません。

- 贈答品の場合は受領者の国において、接待の場合はそれが提供される国において慣例的であること
- その機会にふさわしいこと
- ダッソー・システムズと同様の活動に適用される合理的かつ比例的基準に見合ったものであること
- 現地の基準およびより厳格な現地のダッソー・システムズのポリシーに従うこと

受容可能な額の詳細については、営利企業の場合は以下のセクション3、公務員の場合はセクション4を参照してください。

2.4. 記録保持/会計要件

ユーロネクスト・パリに上場している企業として、ダッソー・システムズには、厳格な会計原則および規制を遵守し、その記録および財務報告に完全、公正、正確、適時かつ理解可能な開示の基準を適用することが求められています。結果として、社会的儀礼についてのすべての経費は、適切な文書によって裏付けされ、ダッソー・システムズの帳簿および記録に適切に記録されていなければなりません（たとえば、娯楽の経費は、「研修費」ではなく、「接待費」として分類しなければなりません）。

利益相反の事態を避けるために、顧客または見込み顧客に提供される食事または娯楽の経費は、食事または接待に参加するダッソー・システムズの代表者が支払わなければならない。その経費報告は、食事または接待の参加者ではない別の人物によって承認されなければなりません（たとえば、GeoのVP BTは、Geoマネージング・ディレクターが夕食に出席している場合であっても支払いを行うことができますが、これは、VP BTの経費報告がEVP、BTによって承認されるためです）。

3. 営利企業と直接取引を行う場合の社会的儀礼

上記のセクション2に規定された一般的な条件に加えて、ダッソー・システムズの利益のために実施されるビジネス関連の社会的儀礼は、特別な場合にのみ、民間の顧客、パートナーまたはサプライヤーに提供することができます。

民間の顧客、パートナーまたはサプライヤーから受領する社会的儀礼は、同等であるかどうかを基準に判断されます。言い換えると、受領する贈答品または接待の種

類は、自身がサプライヤーまたはホストとして提供するであろうものと同等でなければなりません。

結果として、贈答品または接待の授受には、以下の条件が適用されます。

3.1. ビジネス顧客、パートナーまたはサプライヤーとの間で授受される贈答品

授受される贈答品の「妥当な額」を評価するためには、組織内での受領者の地位および、一般的な生活基準を考慮する必要があります。一般に、より厳格な現地のポリシー（地域の財務または法務部に確認してください）の対象となります。

- ダッソー・システムズまたはダッソー・システムズ・ブランドのロゴ付きの既製の記念品（ペン、マグカップ、シャツ、トートバッグなど）は許容されます。
- 現金の贈答（小切手、為替、貸付、株式など）は決して許容されません。
- 上記のセクション2に規定された一般的な条件および、以下の3つの条件に従う限り、現地の祝祭日（クリスマス、新年など）に名目的で個人的ではない贈答を行うことは許容されます。
 - 価値が100米ドル以上の贈答品の授受には、マネージャーおよび地域の財務部からの書面による事前の承認が必要です。
 - 任意の12か月間に特定の個人との間で授受された贈答品の合計額は、250米ドルを超えない限り「妥当」とみなされます。
 - 任意の12か月間に特定の個人（公務員¹を除く、以下のセクション4を参照）との間で授受される250米ドルを超える贈答品については、マネージャーおよび地域の財務部からの書面による事前の承認を条件として授受することができます。マネージャーおよび地域の財務部が共同で、あなたまたはダッソー・システムズがそのような贈答品を授受することができるかどうかを判断します（たとえば、授受を拒否することが無礼となるような、まれなケースにおいて）。
- 顧客、パートナーまたはサプライヤーとの間で授受される贈答品については、[3DSone/oneConduct](#)で利用可能または以下のアドレスからリクエスト可能なテンプレートを使用して、費用および贈答品の種類を含め、適切に申告しなければなりません：3ds.compliance-anticorruption@3ds.com。

3.2. ビジネス顧客、パートナーまたはサプライヤーとの間で授受される接待

一般に、より厳格な現地のポリシー（地域の財務または法務部に確認してください）の対象となります。

- 授受される接待の価値が250米ドルを超える場合は、マネージャーおよび地域の財務または法務部からの書面による事前の承認が必要です。
- 任意の12か月間に特定の個人との間で授受された接待の合計額は、400米ドルを超えない限り「妥当」とみなされます。
- 任意の12か月間に特定の個人（公務員を除く、以下のセクション4を参照）との間で授受される400米ドルを超える接待については、マネージャーおよび地域の財務部からの書面による事前の承認が必要です。マネージャーおよび地域の財務部が共同で、あなたがそのような接待を授受することができるかどうかを判断します（たとえば、授受を拒否することが無礼となるような、まれなケースにおいて）。
- 顧客、パートナーまたはサプライヤーとの間で授受される接待については、[3DSone/oneConduct](#)で利用可能または以下のアドレスからリクエスト可能なテンプレートを使用して、費用および接待の種類を含め、適切に申告しなければなりません：3ds.compliance-anticorruption@3ds.com。

4. 公務員と直接取引を行う場合の社会的儀礼

上記のセクション2に規定された一般的な条件に加えて、特に、公務員に贈答品または接待を提供する前に地域の財務部からの事前の承認を得る必要がある場合は、公務員との間での贈答品または接待¹の授受について、以下の追加的条件が適用されます。

ダッソー・システムズが参加している継続的な調達プロセスに関与する公務員には、たとえ間接的であっても、社会的儀礼を提供することはできません。

4.1. 公務員との間で授受される贈答品

一部の国では、公務員との間での社会的儀礼の授受について、営利企業に適用されるものよりも非常に厳格な条件が適用されます。

一般に、より厳格な現地のポリシー：

- 現金または現金等価物（小切手、為替、クーポン券、商品券、貸付、株式など）での贈答は決して許容されません。
- 贈答品は、量産品である場合を除き、個人的に使用されるものではなく、公用に使用されるものにする必要があります（以下のセクションを参照）。
- 贈答品は、ダッソー・システムズの製品およびソリューションの見本となるものか、ダッソー・システムズまたはダッソー・システムズ・ブランドのロゴ付きの既製の記念品（ペン、マグカップ、シャツ、トートバッグなど）でなければなりません。

- 価値が100米ドル以上の贈答品の授受には、マネージャーおよび地域の財務部からの書面による事前の承認が必要です。
- 公務員との間で授受される贈答品の合計金額は、任意の12か月間に250米ドルを超えてはなりません。
- 贈答品は、公務員とダッソー・システムズ代表者の間で秘密裏または一対一で交換するのではなく、完全な透明性をもって公然と提供されなければなりません。
- 公務員との間で授受される贈答品については、[3DSone/oneConduct](#)で利用可能または以下のアドレスからリクエスト可能なテンプレートを使用して、費用および贈答品の種類を含め、適切に申告しなければなりません：
3ds.compliance-anticorruption@3ds.com。

4.2. 公務員との間で授受される接待

一般に、公務員に対する接待の提供は、より厳格な現地のポリシー（地域の財務または法務部に確認してください）および以下の条件の対象となります。

- 旅行する公務員の選出は、政府/公的機関によって単独で行われなければならない、あなたが選出してはなりません。
- 接待の対象となる人物は、指定された公務員のみであり、その配偶者、家族または、友人などのその他の当事者は除外されます。
- 公務員に対して現金または日当を提供してはなりません。その代わりに、許容される経費については、ダッソー・システムズがサービス提供者（ホテル、レストラン、タクシー、旅行代理店など）に直接支払う必要があります。例外的に、経費の精算が必要な場合、ダッソー・システムズは、1日当たりの上限額である35米ドルまで、書面による領収書の提示によりこれを行うことができます。
- 公務員は、その訪問について報酬を受け取ることはできません。
- 公務員のために娯楽、寄り道旅行またはレジャー活動に資金提供することや、それらを手配または開催することはできません。
- 研修経費は、ダッソー・システムズの製品およびソリューションに関して、来訪した公務員に研修を提供するために必要かつ妥当なものでなければなりません。
- 来訪した公務員に提供される土産物については、上記のセクション4.1に従わなければなりません。
- 公務員との間で授受される接待の合計金額は、任意の12か月間に250米ドルを超えてはなりません。ただし、以下の条件が満たされる限りにおいて、任意の12か月間に250米ドルを超える旅行および宿泊（つまり、一般的に許容され

る種類の接待である食事または飲み物を除く)を公務員に提供することができます。

- そのような旅行または宿泊が、ダッソー・システムズの製品、ソリューションまたはサービスのプロモーション、デモンストレーションまたは説明、あるいは契約の署名または履行に直接関係していること。
- マネージャーおよび地域の財務部からの書面による事前の承認を得ていること。
- 公務員との間で授受される接待については、[3DSone/oneConduct](#)で利用可能または以下のアドレスからリクエスト可能なテンプレートを使用して、費用および接待の種類を含め、適切に申告しなければなりません:3ds.compliance-anticorruption@3ds.com。

5. 間接的な取引

ダッソー・システムズは、以下の個人または法人が関わる不正行為に対して責任を負う可能性があります。

- ダッソー・システムズを代表する従業員、取締役または役員（直接的な取引）
- ダッソー・システムズの仲介業者（再販業者、代理店、コンサルタント、合弁事業パートナー、ビジネス・パートナー）および、仲介業者の仲介業者（そのような仲介業者が腐敗した行為に関与していることをダッソー・システムズが知っている場合）

既知のいかなる法令でも、自発的不知に対する責任は免除されません。ダッソー・システムズの従業員、取締役または役員が以下のことを知っていた場合は、ダッソー・システムズがそのような知識を有するとみなされます。

- 腐敗行為を構成する行動について実際に知っていた場合
- 腐敗行為を構成する行動が取られた、または取られると信ずる十分な理由がある場合
- 腐敗行為が行われたか、準備中であることについて疑念を生じる情報を保持している場合

たとえば、ダッソー・システムズが仲介業者に支払った手数料の一部または全部が賄賂として使用されていることをダッソー・システムズの従業員が知っていた場合は、ダッソー・システムズおよびそのような事実を知っていた従業員が責任を問われ、腐敗行為について有罪判決を受ける可能性があります。

どのような場合であれ、ダッソー・システムズあるいはダッソー・システムズの従業員、取締役、役員およびパートナーは、発生していることを知っている（または合理的に知っているはずの）事象について、故意に目をつぶることによって責任を回避することはできません。

結論として：

- 仲介業者との取引は、本ポリシー（および、特に、手数料または料金が賄賂として使用されないことを確保するための取り決め）の遵守を確保するための文言を含む書面による契約への署名を条件とします。
- ダッソー・システムズが見込み仲介業者のサービスを求めるための必要性は、適用される社内手順の枠組みにおいて意思決定権を有するダッソー・システムズ従業員によって承認されます。
- 指定された仲介業者は、ダッソー・システムズのすべての関連部門が満足すると考えられる、徹底したバックグラウンド・チェックを受けていなければなりません。

以下の要素が考慮されます

ダッソー・システムズの製品、ソリューション、サービスまたはその事業一般に関する取引の一環として、ダッソー・システムズを支援するために仲介業者のサービスを求めるかどうかを決定する場合：

- 現地の法令の下での、ダッソー・システムズと仲介業者との間のビジネス関係の合法性
- 仲介業者の評判および資格
- 仲介業者の所有者および従業員と公務員との間の関係（ある場合）
- 匿名パートナーの有無
- ダッソー・システムズとの関係を完全に開示する仲介業者の自発性

ダッソー・システムズのコンプライアンス・オフィサーまたは法務部は、実施された調査の結果に応じて、仲介業者との関係を終了するよう命じることができます。

全員が疑わしい仲介業者を示す「危険信号」を知っていることが期待されます。このような「危険信号」には、以下のうちの1つまたは複数が含まれる可能性があります。

- 仲介業者が業務を予定している国の腐敗認識指数のスコアが低い。
- 本ポリシーの遵守を契約で保証することを、仲介業者が拒否する。
- 仲介業者と公務員との間に結びつきがある。仲介業者がそのような結びつきを有することに気づいた場合は、法務部またはコンプライアンス・オフィサーに連絡し、関係の継続について助言を求めてください。
- 仲介業者が、公務員である見込み顧客から「推薦」されている。
- 仲介業者に疑わしい評判がある。
- 仲介業者には、提案したサービスを実現する能力やリソースが明らかに欠如している。

- 異常に高い手数料や値引きを求められる（賄賂に使われる可能性がある）。
- 過大請求される。
- 支払いや金額面での取り決めに不審な点がある（現金支払い、匿名銀行口座への支払い、仲介業者の所在地や事業活動地域以外の国にある口座への支払いなど）。
- 会計記録の経費に透明性がない。

ダッソー・システムズに適用される手順の詳細については、3DSone/oneConductに掲載の[ダッソー・システムズの仲介業者との取引に関するガイドライン](#)をお読みになるか、法務部にご請求ください。

6. 寄付、慈善的寄付および企業スポンサーシップ

寄付、慈善的寄付および企業スポンサーシップ活動については、それらが「偽装された」形態の腐敗でないことを確認するため、特別な確認および予防措置を講じなければなりません。

ダッソー・システムズの寄付、慈善的寄付および企業スポンサーシップへの参加は、現地の法令に従うとともに、完全に透明でなければなりません。これらの活動は、ダッソー・システムズの価値と優先順位、およびそのコミュニケーション戦略にも従っていなければならない、法務部の承認を受けた書面による契約の対象となります。

寄付（現物寄付の形式を含む）および企業スポンサーシップ活動は、何らかの利益と引き換えに与えられたり、行われたりしてはなりません。

7. 制裁

本汚職防止ポリシーのいずれか 1 つまたは複数の規定に違反した場合、従業員は、懲戒処分に関する現地の HR ポリシーおよび/または従業員ハンドブックに従って、懲戒処分を受ける可能性があります。